

教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

ニュース・レター No.161

JSiSE

発行日 2009年7月31日
発行所 教育システム情報学会
発行者 岡本 敏雄

〒533-0005
大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25-101号
TEL06-6324-7767 FAX06-6324-7767
http://www.jsise.org/
E-mail : secretariat@jsise.org

第 34 回 JSiSE 全国大会のご案内

メインテーマ：「知識社会を支える教育システム技術」

<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/jsise09/>

開催日時 : 2009年8月19日(水)9:00 ~ 8月21日(金)18:00

会場 : 名古屋大学・IB電子情報館など(〒464-8603 名古屋市千種区不老町)

主催 : 教育システム情報学会

後援 : 名古屋大学, 名古屋大学大学院情報科学研究科, 総務省, 経済産業省, 文部科学省, 愛知県教育委員会, 岐阜県教育委員会, 三重県教育委員会, 名古屋市教育委員会, 豊橋市教育委員会, 岐阜市教育委員会

協賛 : 電子情報通信学会, 教育工学振興会, ヒューマンインタフェース学会, e-learning world2009 実行委員会, 日本教育工学会, 情報処理学会, 日本イーラーニングコンソーシアム, 日本バーチャルリアリティ学会, コンピュータ教育開発センター, 人工知能学会, 日本情報科教育学会

も く じ

第34回全国大会のご案内	1 - 11
JAPANESE-GERMAN CENTER BERLIN [JDZB]	12-13
国際会議のご案内	14
2009年度第2回研究会報告	15-16
新入会員のご紹介	17
事務局よりお知らせ	18

教育システム情報学会 第34回全国大会

開催日：2009年8月19日(水)・20日(木)・21日(金)

会場：名古屋大学(〒464-8603 名古屋市千種区不老町)

研究発表・講演総数：259件

基調講演・特別講演・招待講演・パネルディスカッション(8件)

企画セッション・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(77件)

A：スキルの分析・学習・教育と支援環境(14件)

B：先進的なアルゴリズム/プログラミング学習・教育支援システム(7件)

C：小・中・高・大一貫した情報教育体系構築の課題(8件)

D：eラーニング環境のデザインとHRD(Human Resource Development)(16件)

E：ユビキタスラーニングと新しいユーザ・エクスペリエンス(5件)

F：ICTを活用した学習支援システムと学習コンテンツ(27件)

一般講演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(155件)

1. eポートフォリオ(5件)

13. プログラミング教育(7件)

2. 学習評価・アセスメント(5件)

14. 知的学習支援(7件)

3. 協調学習(9件)

15. 医療・看護教育(8件)

4. 作問学習・問題生成(5件)

16. 学習環境デザイン(8件)

5. 学習コンテンツ(17件)

17. 講義映像の利用(4件)

6. e-learningシステム(9件)

18. 情報社会・倫理(7件)

7. 学習者特性・行動分析(5件)

19. 授業設計(3件)

8. 情報教育(9件)

20. 言語学習(4件)

9. LMS(8件)

21. e-learningの導入実践(7件)

10. e-learning実践(7件)

22. FD(3件)

11. クラス・コミュニティ形成(3件)

23. プレゼンテーション支援(4件)

12. Web活用(7件)

24. モバイル・ラーニング(4件)

ワークショップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(19件)

A：SNS・新技術創造委員会企画(7件)

「教育・学習を支援するSNS的アプローチの技術と評価」

B：東海支部企画(4件)

「オープンソースによるLMS/ CMSの可能性 ~ sakai と moodle の活用事例を通して ~」

C：STACKとMoodleで構築する数学オンラインテスト・評価システム(1件)

D：「パネル討論：スキルの分析・学習・教育と支援環境」(6件)

E：学会誌編集委員会企画(1件)

「チュートリアル：編集担当委員が語る JSiSE 論文投稿入門 - 論文執筆のコツから査読のポイントまで -」

【大会1日目(8月19日)】

	会場:221(2号館)	会場:222(2号館)	会場:IB011(IB館)	会場:IB013(IB館)	会場:IB014(IB館)	会場:701(7号館)	会場:702(7号館)	会場:704(7号館)	会場:IB館廊下	
8:30	受け付け開始									
9:00-12:00	WA:ワークショップA 教育・学習を支援するSNS的アプローチの技術と評価 オーガナイザ: 柏原昭博(電気通信大学) 長谷川 忍(北陸先端科学技術大学院大学)	WB:ワークショップB オープンソースによるLMS/ CMSの可能性～sakaiとmoodleの活用事例を通して～ オーガナイザ: 磯本征雄(岐阜聖徳学園大学) 上田真由美(京都大学) 常盤祐司(法政大学) 長谷川信(岐阜聖徳学園大学) 吉根勝美(南山大学)	WC:ワークショップC STACKとMoodleで構築する数学オンラインテスト・評価システム オーガナイザ: 中村泰之(名古屋大学) 秋山實(eラーニングサービス) 中原敬広(eラーニングサービス)	WD:ワークショップD パネル討論:スキルの分析・学習・教育と支援環境 オーガナイザ: 曾我真人(和歌山大学)	WE:ワークショップE チュートリアル:編集担当委員が語るJSiSE 論文投稿入門 - 論文執筆のコツから査読のポイントまで オーガナイザ: 学会誌編集委員一同 委員長:渡辺成良(電気通信大学) 副委員長:仲林 清(放送大学)					
12:50-13:00	大会案内(会場:大講義室)									
13:00-13:15	大学挨拶 杉山寛行(名古屋大学理事・副総長) (会場:大講義室)									
13:15-13:45	基調講演 岡本敏雄(教育システム情報学会会長 電気通信大学) 「非構造化時代の社会・経済様相と人材育成のかたち」 (会場:大講義室)									
13:55-16:15	企業セッション 共催:渉外活性化委員会 (会場:大講義室)									
16:20-18:00	A1:一般セッション eポートフォリオ 座長:森本康彦(東京学芸大学)	A2:一般セッション 学習評価・アセスメント 座長:鷹岡亮(山口大学)	A3:一般セッション 協調学習(1) 座長:光原弘幸(徳島大学大学院)	A4:一般セッション 作問学習・問題生成 座長:松田憲幸(和歌山大学)	A5:一般セッション 学習コンテンツ(1) 座長:中村泰之(名古屋大学大学院)	A6:一般セッション e-learningシステム(1) 座長:常盤祐司(法政大学)	A7:一般セッション 学習者特性・行動分析 座長:入部百合絵(豊橋技術科学大学)	A8:一般セッション 情報教育(1) 座長:真嶋由貴恵(大阪府立大学)	企業展示	
18:10-19:00	名大博物館見学									
19:00-20:00	ウェルカムパーティ (会場:フレンドリー南部)									

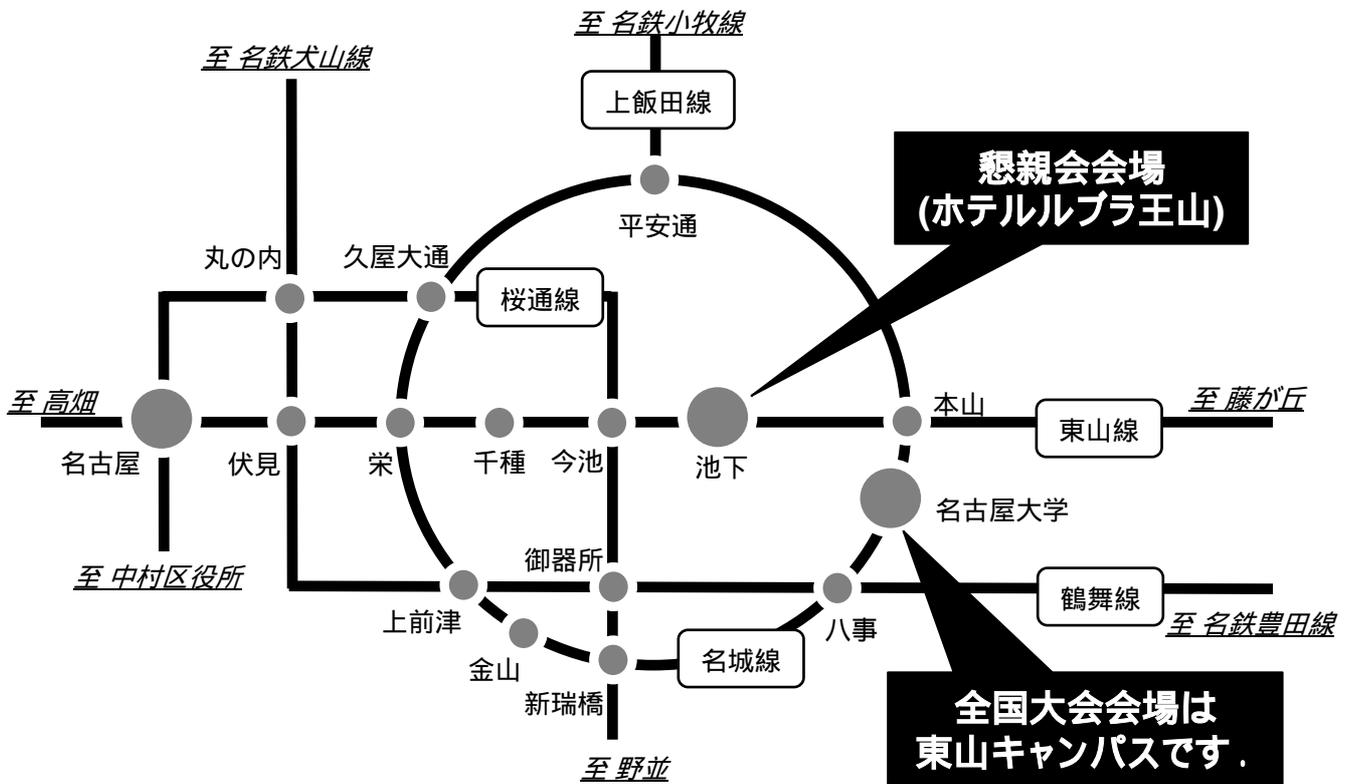
【大会2日目(8月20日)】

	会場:221(2号館)	会場:222(2号館)	会場:IB011(IB館)	会場:IB013(IB館)	会場:IB014(IB館)	会場:IB015(IB館)	会場:701(7号館)	会場:702(7号館)	会場:704(7号館)	会場:IB館廊下
8:30	受け付け開始									
9:00-10:20	TB1:企画セッションB 先進的なアルゴリズム/プログラミング学習・教育支援システム(1) 座長:小西達裕(静岡大学)	TD1:企画セッションD eラーニング環境のデザインとHRD (Human Resource Development)(1) 座長:平田謙次(東洋大学)	TFa1:企画セッションF(a) ICTを活用した学習支援システムと学習コンテンツ [LMSと分析ツール](1) 座長:小松川浩(千歳科学技術大学)	TFb1:企画セッションF(b) ICTを活用した学習支援システムと学習コンテンツ【教育実践とコンテンツ作成・利用】(1) 座長:不破泰(信州大学)	TA1:企画セッションA スキルの分析・学習・教育と支援環境(1) 座長:香山瑞恵(信州大学)	B1:一般セッション LMS(1) 座長:根本淳子(熊本大学大学院)	B2:一般セッション e-learningシステム(2) 座長:合田美子(大手前大学)	B3:一般セッション 学習コンテンツ(2) 座長:片山滋友(日本工業大学)	B4:一般セッション e-learning実践(1) 座長:向後千春(早稲田大学)	企業展示
10:30-11:50	TB2:企画セッションB 先進的なアルゴリズム/プログラミング学習・教育支援システム(2) 座長:渡辺博芳(帝京大学)	TD2:企画セッションD eラーニング環境のデザインとHRD (Human Resource Development)(2) 座長:松居辰則(早稲田大学)	TFa2:企画セッションF(a) ICTを活用した学習支援システムと学習コンテンツ [LMSと分析ツール](2) 座長:小松川浩(千歳科学技術大学)	TFb2:企画セッションF(b) ICTを活用した学習支援システムと学習コンテンツ【教育実践とコンテンツ作成・利用】(2) 座長:不破泰(信州大学)	TA2:企画セッションA スキルの分析・学習・教育と支援環境(2) 座長:松浦健二(徳島大学)	C1:一般セッション LMS(2) 座長:田中規久雄(大阪大学)	C2:一般セッション 情報教育(2) 座長:福原美三(慶應義塾大学)	C3:一般セッション 学習コンテンツ(3) 座長:伊藤敏(岐阜聖徳学園大学)	C4:一般セッション e-learning実践(2) 座長:藤原康宏(岩手県立大学)	
12:00-										
12:50-13:00	大会案内(会場:大講義室)									
13:00-14:00	総会 (会場:大講義室)									
14:10-15:10	特別講演 神田忠雄(文部科学省高等教育局専門教育課・企画官) 「高等教育行政の現状等について」 (会場:大講義室)									
15:20-16:40	TC1:企画セッションC 小・中・高・大一貫した情報教育体系構築の課題(1) 座長:松永公廣(摂南大学)	TD3:企画セッションD eラーニング環境のデザインとHRD (Human Resource Development)(3) 座長:仲林清(放送大学)	TFa3:企画セッションF(a) ICTを活用した学習支援システムと学習コンテンツ [LMSと分析ツール](3) 座長:布施泉(北海道大学)	TFb3:企画セッションF(b) ICTを活用した学習支援システムと学習コンテンツ【教育実践とコンテンツ作成・利用】(3) 座長:野崎浩成(愛知教育大学)	TA3:企画セッションA スキルの分析・学習・教育と支援環境(3) 座長:曾我真人(和歌山大学)	TE1:企画セッションE ユビキタスラーニングと新しいユーザ・エクスペリエンス 座長:佐々木整(拓殖大学),三石大(東北大学)	D1:一般セッション クラス・コミュニティ形成 座長:山田政寛(金沢大学)	D2:一般セッション Web活用(1) 座長:川田博美(名古屋女子大学短期大学部)	D3:一般セッション プログラミング教育(1) 座長:村上正行(京都外国語大学)	
16:50-18:10	TC2:企画セッションC 小・中・高・大一貫した情報教育体系構築の課題(2) 座長:西野和典(九州工業大学)	TD4:企画セッションD eラーニング環境のデザインとHRD (Human Resource Development)(4) 座長:鈴木克明(熊本大学)	TFa4:企画セッションF(a) ICTを活用した学習支援システムと学習コンテンツ [LMSと分析ツール](4) 座長:布施泉(北海道大学)	TFb4:企画セッションF(b) ICTを活用した学習支援システムと学習コンテンツ【教育実践とコンテンツ作成・利用】(4) 座長:野崎浩成(愛知教育大学)	(6件 17:20まで)	(5件 17:00まで)	E1:一般セッション プレゼンテーション支援 座長:三好康夫(高知大学)	E2:一般セッション Web活用(2) 座長:原克彦(目白大学)	E3:一般セッション プログラミング教育(2) 座長:浅井文男(奈良工業高等専門学校)	
19:00	懇親会 (ルプラ王山)									

【大会3日目(8月21日)】

	会場:221(2号館)	会場:222(2号館)	会場:IB011(IB館)	会場:IB013(IB館)	会場:IB014(IB館)	会場:IB015(IB館)	会場:701(7号館)	会場:702(7号館)	会場:704(7号館)	会場:IB館廊下
8:30	受け付け開始									
9:00-10:20	F1:一般セッション 知的学習支援(1) 座長:岩根典之(広島市立大学)	F2:一般セッション 医療・看護教育(1) 座長:江藤香(日本工業大学)	F3:一般セッション 学習環境デザイン(1) 座長:福村好美(長岡技術科学大学)	F4:一般セッション 講義映像の利用 座長:越智洋司(近畿大学)	F5:一般セッション 情報社会・倫理(1) 座長:村田育也(北海道教育大学)	F6:一般セッション 授業設計 座長:丹羽量久(長崎大学)	F7:一般セッション 言語学習 座長:宮原一弘(名古屋市立大学大学院)	F8:一般セッション e-learningの導入実践(1) 座長:喜多敬博(熊本大学)	F9:一般セッション 学習コンテンツ(4) 座長:永森正仁(長岡技術科学大学)	企業展示
10:30-11:50	G1:一般セッション 知的学習支援(2) 座長:林雄介(大阪大学)	G2:一般セッション 医療・看護教育(2) 座長:石井成郎(愛知県わかみ看護短期大学)	G3:一般セッション 学習環境デザイン(2) 座長:安間文彦(電気通信大学)	G4:一般セッション FD 座長:藤井美知子(長崎大学)	G5:一般セッション 情報社会・倫理(2) 座長:工藤英男(大阪成蹊大学)		G6:一般セッション 協調学習(2) 座長:舟生日出男(広島大学大学院)	G7:一般セッション モバイル・ラーニング 座長:妻鳥貴彦(高知工科大学)	G8:一般セッション e-learningの導入実践(2) 座長:栗山健(学習研究社)	
12:50-13:00	大会案内(会場:大講義室)									
13:00-14:00	招待講演 天峯 庵(京都大学福井謙一記念研究センター・リサーチリーダー,名古屋大学名誉教授,前名古屋大学理事・副総長,前名古屋大学理学研究科・教授) 「水、水、水、その特異な性質:水のミクロの世界」 (会場:大講義室)									
14:10-16:10	パネル討論:「実践的課題に基づく技術者教育」 共催:名古屋大学 大学院情報科学研究科「OJLによる最先端技術適応能力を持つIT人材育成拠点の形成」 オーガナイザ:小林隆志(名古屋大学大学院),坂部俊樹(名古屋大学大学院) 司会:渡邊豊英(名古屋大学大学院) パネリスト:阿草清滋(名古屋大学大学院),小林一夫(ブラザー工業株式会社),中川正樹(東京農工大学),坂本憲昭(九州大学大学院),桑野文洋(国立情報学研究所) (会場:大講義室)									
16:20-16:50	クロージングセッション・表彰式 (会場:大講義室)									

会場アクセス



【中部国際空港から】

名鉄空港線 名鉄岐阜行「中部国際空港」 「金山」

地下鉄名城線 左回り「金山」 「名古屋大学」

【JR名古屋駅から】

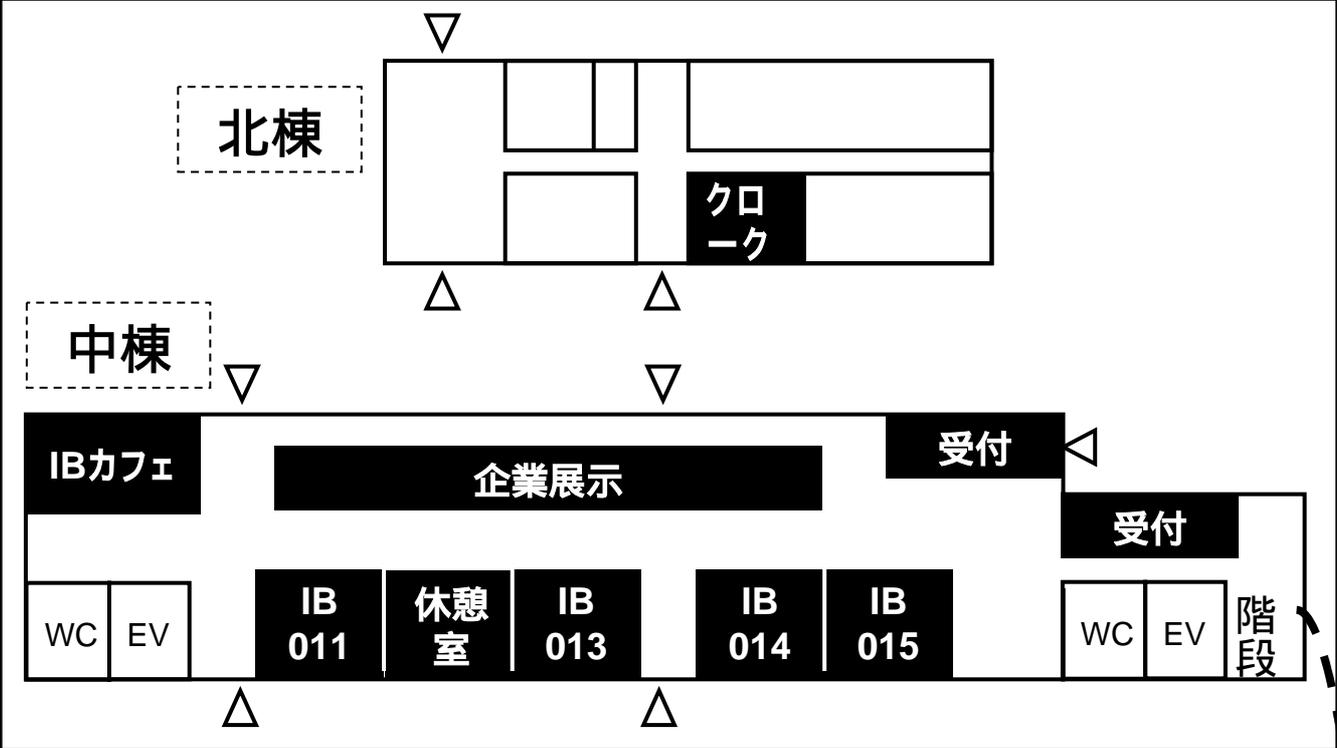
地下鉄東山線「名古屋」 「本山」

地下鉄名城線 右回り「本山」 「名古屋大学」

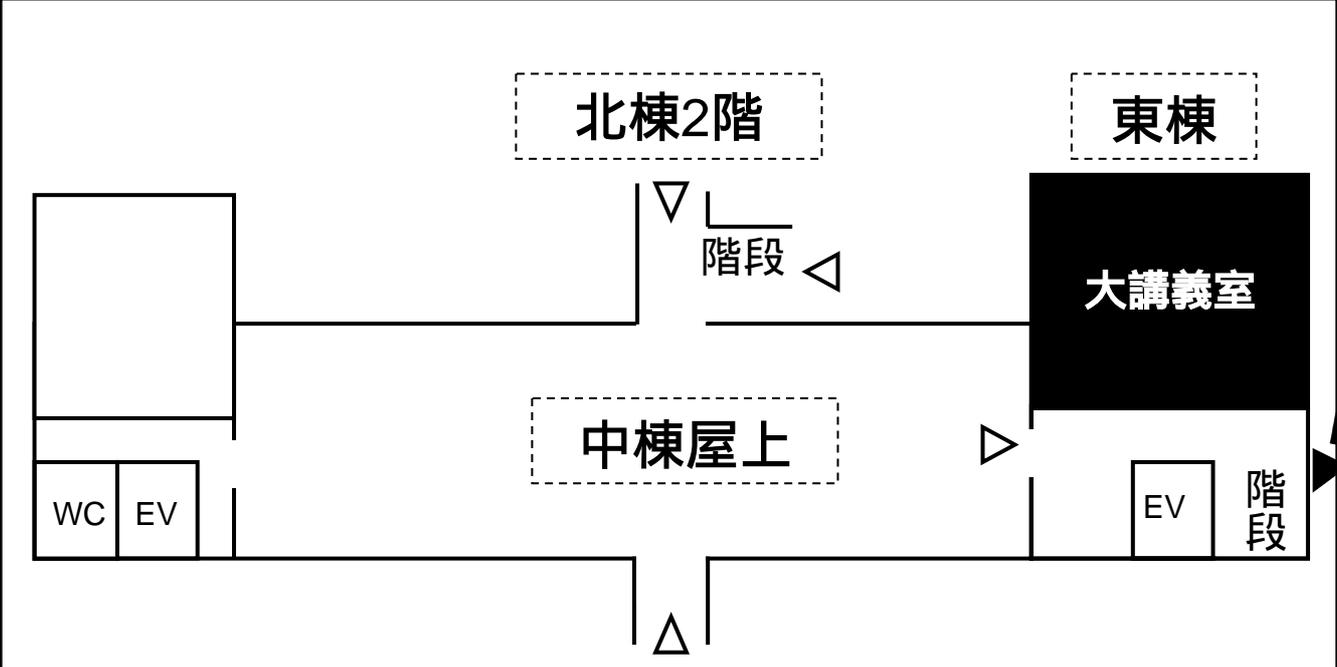
会場案内図



IB電子情報館1階



IB電子情報館2階

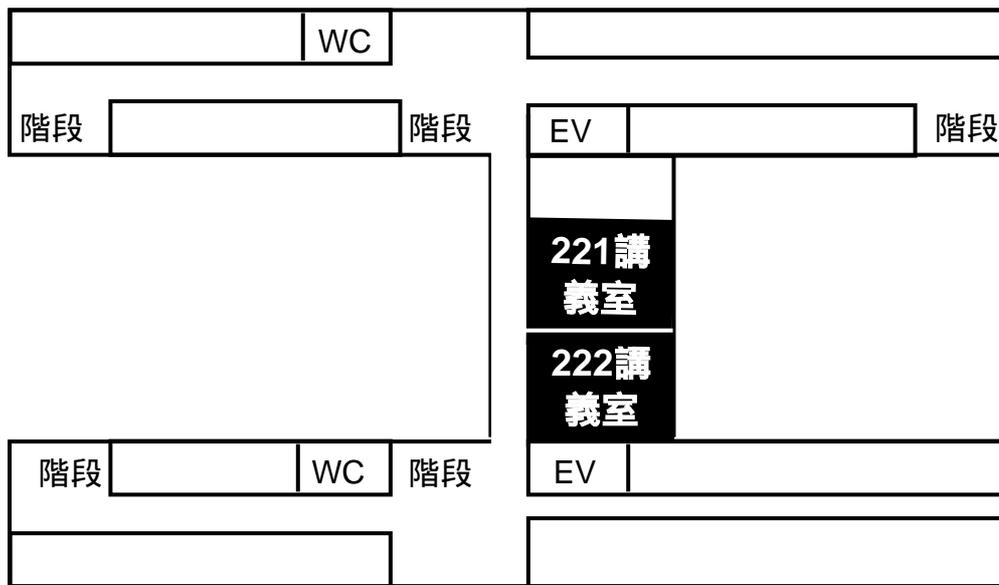


セッション会場案内図(工学部2号館・7号館)

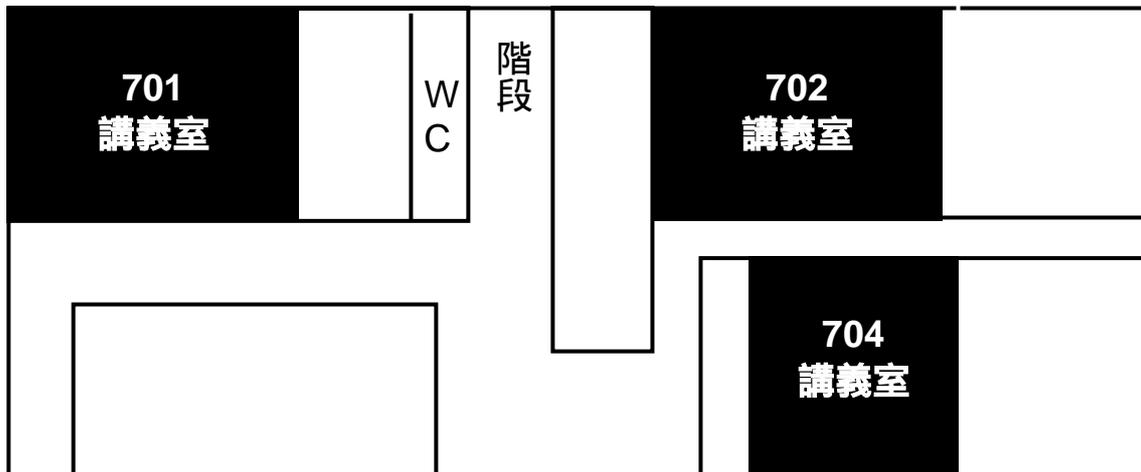
工学部2号館2階



(1階入口より階段を上へ)



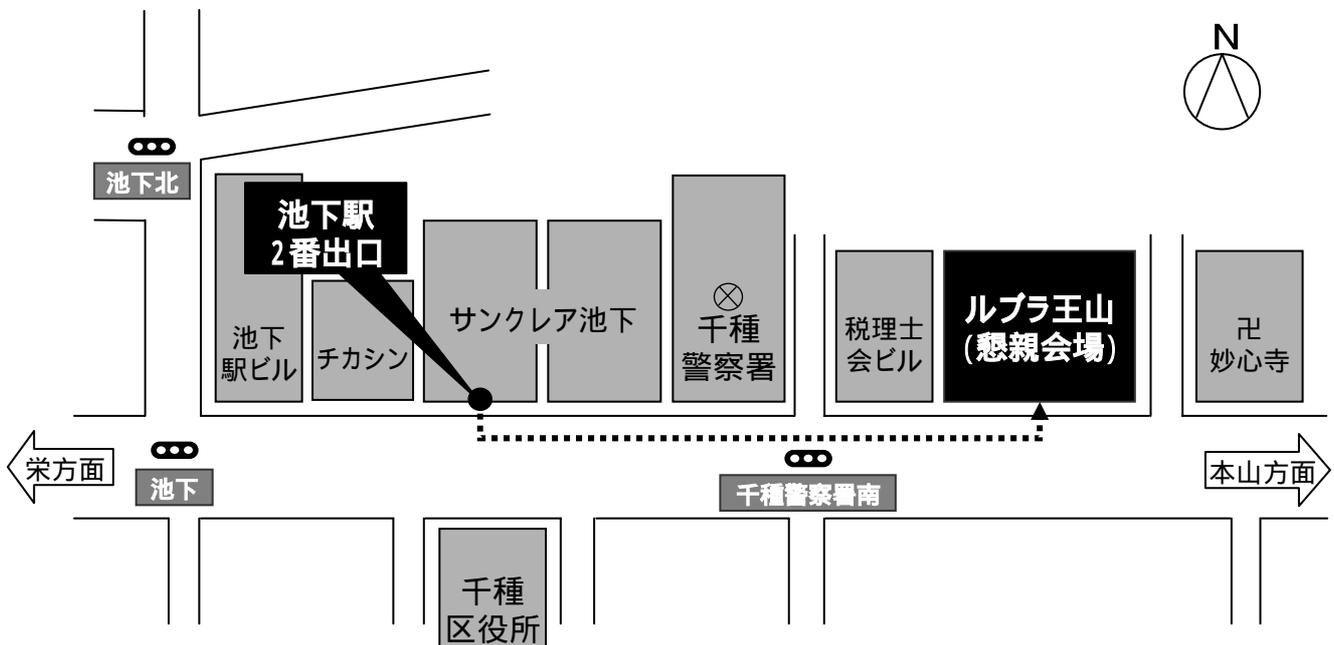
工学部7号館1階



(2階入口より階段を下へ)

IB電子情報館方面

懇親会場(ホテルルブラ王山)



【懇親会場】

ホテルルブラ王山(公立学校共済組合名古屋宿泊所)

池下駅 2番出口(東改札:サンクレア池下地下1階)を出て左直進徒歩5分

2番出口は、本山から乗車の場合はホーム後方

Tel (052)762-3151(代表) 住所 名古屋市千種区覚王山通 8-18

【開催時間】

19:00 ~ 21:00

愛知県の伝統芸能である「尾張万歳」(国指定重要無形民俗文化財)の上演を予定しています。



【尾張万歳】

鎌倉時代を起源とする芸能で、正月に家々を訪問して新年を祝う門付芸。七福神を歌詞に盛り込み、屋敷の新築を祝う御殿万歳等の演目がある。現代の上方漫才のルーツとも言われる。



名古屋大学博物館・展示案内

17th Nagoya University Museum Special Display
第17回名古屋大学博物館企画展

2009年

8月4日(火)～10月3日(土)

場所：名古屋大学博物館

後援：東海昆虫保存会

時間：午前10時～午後4時
(入館は午後3時半まで)

休館日：日曜日・月曜日・8月19日(木)・14日(金)

地下鉄名城線「名古屋大学駅」2番出口から歩いて2分
(駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください)

入場
無料

お問い合わせ 名古屋大学博物館 〒464-8601 名古屋市中区不老町 Tel:052-789-5767 Fax:052-789-5896 URL: <http://www.num.nagoya-u.ac.jp/>

水辺の宝石 トンボ ～東海昆虫保存会コレクション展～

川や池や田んぼなど、トンボは私たちの身近な水辺の自然に寄り添うように生きてきました。水の中で育ち、やがて大空に飛び立つトンボは、たくみな体の仕組みや生態をそなえています。展示では、東海昆虫保存会から寄贈された標本を中心に、さまざまなトンボの種類や体の構造・不思議な生態などを紹介します。

1. トンボの体と生態のふしぎ

水辺から大空をめぐる一生をおくるトンボは、水中での幼虫時代・水辺での羽化・空中を翔る成虫時代と、大きく変わる生活史に適應した体や生態をそなえています。トンボのたくみな体の仕組みや生態について紹介します。

2. トンボの分類と種類

トンボは世界に約5,000種、日本に約200種が生息しています。トンボの分類や、日本の代表的なトンボ、東海地方で見られるトンボなど、トンボの多様性を紹介します。

3. 名古屋発ハッチョウトンボ

「尾張國矢田河原八丁職」が名前の由来だとされるハッチョウトンボ。このトンボの生態は、名古屋大学ゆかりの研究者によって明らかにされました。繁殖様式やなわばり争いなど、名古屋で調査された研究からわかったハッチョウトンボの生態を紹介します。

4. 東海昆虫保存会コレクション

東海昆虫保存会は、1978年以来、東海地方を中心に全国の昆虫を採集し、昆虫を通じて東海や日本の自然誌の紹介する活動を続けてきました。このコーナーでは、東海昆虫保存会のトンボ以外の標本を一部紹介します。



名古屋大学における ノーベル賞研究

入場無料

2001年 ノーベル化学賞 (野依 良治博士)

2008年 ノーベル物理学賞 (小林 誠博士、益川 敏英博士)

2008年 ノーベル化学賞 (下村 脩博士)

益川 敏英博士、小林 誠博士、下村 脩博士のノーベル賞メダル (公式レプリカ) 展示中

教育システム情報学会全国大会 特別見学会

【見学時間】2009年8月19日 18時15分～19時

8月19日(水)は、19時まで臨時開館

【集合時間】2009年8月19日 18時10分

【集合場所】大会受付(1B電子情報館中棟1F)

JAPANESE-GERMAN CENTER BERLIN [JDZB]
IN CO-OPERATION WITH
JAPAN SOCIETY FOR INFORMATION AND SYSTEMS IN EDUCATION [JSISE];
GRAZ UNIVERSITY

Tentative Program

For the symposium and workshop on

**The challenge of demographic change –
Sustainable life-long learning and digital media**

September 10 and 11, 2009

at the JDZB, Saargemuender Str. 2, 14195 Berlin

The rapid expansion of knowledge and the demographic change make sustainable life long learning mandatory. The educational system today has more than ever to react flexible to this challenge and the challenges of the labour market. Digital media offer a huge potential to cope with this situation. Universities support the use of e.g. eLearning and blended learning into teaching and further education. Also internationalised research and teaching, like the recently established German-Japanese graduate schools (Graduiertenkolleg) have to use digital media. It can also be seen the other way round: digital media offer the chance to strengthen international teaching cooperation. One of the great challenges in the context of demographic change is the transfer of knowledge of the retiring generation to the future workforce, may it come from within the country or from abroad. Since eLearning offers new freedoms regarding time and locations of learning it enhances the chance to gain further qualifications in accordance with individual ways of learning and the professional situation of the user of these programs.

Both Germany and Japan are interested in developing the potential of new forms of learning. The proposed interdisciplinary European-Japanese symposium and workshop will take up this challenge.

The symposium will be open to the public and focus on the following areas:

- sustainable life-long learning
- life-work balance (incl. social support systems for digital learners)
- knowledge transfer from the retiring generation to the next generation and to immigrants
- digital media in international academic cooperation
- technology change, social network services
- added value of life long learning for the digital age.

The symposium and workshop aim

- to support endeavours to work on a clear and well defined concept of the 'knowledge society' in a demographically changing environment, that can be shared by decision makers in all these societies and takes into account cultural differences,
- to encourage companies to prepare for new strategies in lifelong learning,
- to address globalization in schools and universities by using digital media communication for joint cross-border and cross-cultural courses between Europe and Japan,
- to promote interdisciplinary research and development cooperation between Japan and Europe.

Speakers will be experts from academia (psychology, cognitive sciences, education, computer sciences, sociology) ministries in Germany, Austria, Switzerland and Japan, the European Commission, labour unions, associations and companies related to the use of digital media.

The workshop on the following day offers a platform for the academic experts from Europe and Japan to exchange their views and ideas.

The symposium will be held in German and Japanese with simultaneous interpretation. Language of the workshop is English only.

The symposium and the workshop follow-up on two workshops in 2003 (Berlin) and 2005 (Tokyo) on "Cognition and Learning through Media Communication" and shall push add a new dimension to the discussion and enlarge the European-Japanese network of researchers in this area. The previous conferences were held in cooperation with the Japanese Society for Information and Systems in Education, the German Cognitive Science Society, the Japanese Association of Educational Psychology, Graz University and Hiroshima University, and in Tokyo also with Sophia University.



国際会議のご案内

国際会議のご案内は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介や、インターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、ご連絡ください。

また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

新着情報：2 件

WMUTE 2010: 6th IEEE International Conference on Wireless, Mobile & Ubiquitous Technologies in Education

開催期間：April 12-16, 2010

開催地：Kaohsiung, Taiwan

URL： <http://wmute2010.cl.ncu.edu.tw/>

論文投稿スケジュール：Submission Deadline: September 26th, 2009

DIGITEL 2010: IEEE 3rd International Conference on Digital Game and Intelligent Toy Enhanced Learning

開催期間：April 12-16, 2010

開催地：Kaohsiung, Taiwan

URL： <http://digitel2010.cl.ncu.edu.tw/>

論文投稿スケジュール：Submission Deadline: September 26th, 2009



テーマ 「e-Learning の実践と学習支援システム / 一般」

開催日：2009年7月4日(土) 午前9時～午後6時

会場：北海道大学情報教育館 3F スタジオ型多目的中会議室

主催：教育システム情報学会，共催：北海道大学情報基盤センター

担当：研究会委員会（小松川浩，野崎浩成，不破泰，布施泉）

発表件数：16件 参加者数：43名

7月4日に、第2回研究会を北海道大学にて開催致しました。第2回研究会では、Webテクノロジーを活用した学習支援の実践、学習支援の環境や技術、学習コンテンツの開発・評価など、広い意味でのe-Learningの研究とともに、学習支援システムに関する研究を幅広く募集いたしました。当日は16件のご発表があり、参加者は43名でした。参加者の中には、高校教員を含む非会員が18名程おり、本テーマの関心の高さがうかがえました。

- 1 教育学習支援システムELMSを用いた情報教育の実践
布施泉，岡部成玄（北海道大学）
- 2 北限の海女仮想体験学習システムにおける学習システム試作
細川靖（八戸工業高等専門学校，岩手県立大学），古田圭介（八戸工業高等専門学校），
櫻庭義彦（八戸工業高等専門学校，現 任天堂），阿部芳彦（岩手県立大学）
- 3 FLASH コンテンツを用いた分散LMS型eラーニングシステムの試作
古田圭介（八戸工業高等専門学校），細川靖（八戸工業高等専門学校，岩手県立大学）
阿部芳彦（岩手県立大学）
- 4 読み書きが苦手な児童の漢字学習支援 デジタルペンを使用した漢字誤り分析
近藤衣里子，野崎浩成，江島徹郎，梅田恭子（愛知教育大学）
- 5 共通知識に基づく授業ポータルとeラーニングのサービス連携
長谷川理，小澤祐也，立野仁，山川広人，小松川浩（千歳科学技術大学）
- 6 学習者適応型eLearningシステムPOLITEの開発と運用
谷川健，山北隆典，藤井敏史，富士隆（北海道情報大学）
- 7 美を題材にしたデジタルアート作品の制作とWBT教育
高田伸彦(金沢学院大学)
- 8 プレンド型大学授業の学生による授業評価の分析
向後千春（早稲田大学），富永敦子（早稲田大学大学院）
- 9 社会人遠隔学習者に対する包括的サポートの実践とサポート支援システムの開発
不破泰，今井美香（信州大学大学院），山下純矢（ソニー株式会社）
國宗永佳，新村正明（信州大学大学院）
- 10 多様な参加者の緩やかな協力関係に基づく協調eラーニング環境の実現について
何嵩昊（北海道大学），齋藤健司（北海道情報大学），久保宝（NeogeoWorks 札幌）
前田隆（北海道情報大学）

- 11 双方向コミュニケーションを可能にする遠隔教育システム
-文科省 SSH における実証と当社独自の検証記録報告-
増田義一, 佐々木春光(株式会社ユープロダクション), 亀田冬樹(株式会社ソフトウェアキッチン)
- 12 弱い協調学習を実現するための推論機能を用いた教育システムの構築
齋藤健司, 前田隆(北海道情報大学), 何嵩昊(北海道大学)
- 13 専門課程公共職業訓練生の職業と学習に関する意識調査とその分析
風間吉之, 阪口哲男, 杉本重雄(筑波大大学院)
- 14 社会人学生を対象とした SNS の書込みによるコミュニケーションの定量分析
李凱(豊橋技術科学大学), 入部百合絵(豊橋技術科学大)
- 15 サラウンディングキャンパスの構築
清水雅也, 山崎雄大, 福田将行, 妻鳥貴彦(高知工大)
- 16 聴覚障害者向けの携帯電話を使用したルビ付きリアルタイム文字提示による講義支援システム
小林正幸(筑波技術大学), 三好茂樹(筑波技術大学), 石原保志(筑波技術大学)

2009 年度 JSiSE 研究会開催予定

開催日時	テーマ	会場	担当
第3回研究会 9月28日(月)	先進的なアルゴリズム / プログラミング学習・教育支援システム	静岡大学	米澤, 林 伊東, 小西
第4回研究会 11月20日(金)	eラーニング環境のデザインとHRD / 一般	早稲田大学 (予定)	仲林, 石打 松居, 北村
第5回研究会 2010年1月23日(土)	モバイル&ユビキタスラーニングと新しい ユーザ・エクスペリエンス / 一般	東北大学	佐々木, 永森 三石
第6回研究会 2010年3月13日(土)	生涯教育と情報教育	畿央大学	松永, 西野 西端

研究報告のお求めは

研究報告のバックナンバーを購入ご希望の方は、(株)毎日学術フォーラムまで
お申し込みください。1部1,300円(送料共)です。残部切れの際はご容赦ください。

株式会社 毎日学術フォーラム

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル2階

TEL : 03-6267-4550 FAX : 03-6267-4555

Mail : maf-sales@mycom.co.jp URL : <http://maf.mycom.co.jp>

なお、JSiSE 会員の方で「研究報告」の年間購読をご希望の方は、事務局までご連絡ください。
この際にぜひ年間購読されますようおすすめいたします。

年間購読料 4,000円 / 年6回発行(送料込)

新入会員の紹介

新入会員 (敬称略)

2009.7.25 現在

会員番号	氏名	所属機関	推薦者	会員種別
JSiSE-A0902910	伊藤孝行	財団法人 日本交流協会		正会員
JSiSE-A0902911	梶田鈴子	中村学園大学		正会員
JSiSE-A0902912	小谷岳生	鳥取大学		正会員
JSiSE-A0902913	大田邦男	福岡経済大学		正会員
JSiSE-A0902914	本間 透	信州大学大学院	不破 泰	準会員
JSiSE-A0902915	長 慎也	一橋大学		正会員
JSiSE-A0902916	今野慎一郎	信州大学大学院	不破 泰	準会員
JSiSE-A0902917	松村浩幸	信州大学	森山 潤	正会員
JSiSE-A0902918	奥田雅信	大手前大学		正会員
JSiSE-A0902919	森本容介	放送大学		正会員
JSiSE-A0902920	岡本雅子	京都大学大学院		準会員
JSiSE-A0902921	山川裕子	東京情報大学	布広永示	準会員
JSiSE-A0902922	水野勝教	愛知工業大学		正会員
JSiSE-A0902925	Rubens Neil	電気通信大学大学院	岡本敏雄	正会員
JSiSE-A0902926	福田裕之	広島大学大学院	平嶋 宗	準会員
JSiSE-A0902927	山崎和也	広島大学	平嶋 宗	準会員
JSiSE-A0902928	原口聡史	佐賀大学		正会員

新入会 企業・団体会員 (敬称略)

2009.7.25 現在

会員番号	所属機関	所属部署	代表者氏名	担当者氏名	推薦者
JSiSE-IA090104	株式会社 エー・シー・プラネット		田中邦彦	加藤みどり	山崎初男
登録会員	JSiSE-A0902923	田中邦彦			
	JSiSE-A0902924	池田健一			

事務局より

2009年度・2008年度以前の年会費をご納付いただけていない学会員様は、ご入金頂きますようお願い致します。未納が続きますと、ご入金を確認できるまで、学会発送物をお止めさせて頂く場合がございます。詳しくは、事務局までメールにてお問い合わせ下さい。

E-mail : secretariat@jsise.org

正会員：7,000円 準会員：4,000円 企業・団体会員：50,000円

研究報告年間購読：4,000円 入会金：1,000円(入会時のみ)

振込先

銀行名：ゆうちょ銀行 支店名：019店 当座預金：0709632 00180-6-709632 口座名義：教育システム情報学会	銀行名：池田銀行 支店名：上新庄支店(222) 普通預金：13440 口座名義：教育システム情報学会 家本修
--	---

・ご登録いただいております内容に変更がございましたら、事務局まで、ご連絡ください。

ご連絡が無い場合、学会発送物がお届けできない場合がございます。



2009年度新入会員募集

教育システム情報学会には、現在 約1600名以上の皆様が会員として参加されておられます。

定期的開催される研究会・セミナーなどに、研究成果を発表できることや、そのほか、定期刊行物の論文誌やニューズレター、研究報告書などがお手許に届きます。

教育分野における情報通信技術の利用に関する学術研究に興味のあるお知り合いの方がおられましたら、是非ご紹介をいただきますようお願い申し上げます。

お申込み方法

入会をご希望の方は、入会申込書は学会WEBページに掲載しておりますので(PDFファイル)ダウンロードしていただき、必要事項をご記入の上、学会事務局にご郵送または、FAXにてお送りいただきますようお願いいたします。

手続きをいたしますので、後日、事務局から入会金や年会費のお支払い方法などの詳しい資料を送付します。

学会事務局宛

〒533-000

大阪市東淀川区瑞光3丁目3-25 パティオ白川101

教育システム情報学会事務局 宛

TEL 06-6324-7767 FAX 06-6324-7767

E-mail : secretariat@jsise.org



～ 年会費のご案内～

正会員：7,000円 準会員：4,000円

企業・団体会員：50,000円

研究報告年間購読：4,000円

入会金：1,000円(初年度のみ)

なお、年度途中入会の場合も、さかのぼって刊行物を、お送りしますので、その年度の費用をいただいております